

東洋大学 2025年度SDGsシンポジウム

未来を拓く研究力

- 研究成果の社会実装を通じたSDGsへの貢献 -

2025年 **11月1日** (土) 13:00~16:15

東洋大学 白山キャンパス 125記念ホール
オンライン同時開催 / 参加費無料

プログラム

- 01** 学長挨拶 矢口 悦子 [学長・東洋大学いのち総合研究機構 機構長]
- 02** 東洋大学SDGs推進センター長挨拶・趣旨説明
金子 律子 [SDGs推進センターセンター長]
- 03** 基調講演
SDGsに貢献するビジネスのこれまでと、これから
村上 芽 [株式会社日本総合研究所 創発戦略センター チーフスペシャリスト]
- 04** 活動報告
 - ①** バイオミメティクス活用による安心・快適な利用空間の実現
窪田 佳寛 [理工学部機械工学科 准教授]
花木 美穂 [株式会社セブン銀行 ATMソリューション部 ATM開発グループ長]
 - ②** 生活も仕事も充足して継続できる社会の実現に向けた、
職業キャリアの実証研究
西野 理子 [社会学部社会学科 教授]
 - ③** 安心な水を未来へ
~有用細菌による排水処理技術の開発と普及に向けて~
井坂 和一 [理工学部応用化学科 教授]
- 05** パネルディスカッション
ファシリテーター： 荒巻 俊也 [SDGs推進センター 副センター長]
- 06** 総括

申込はこちら ▶

締切：10月29日



登壇者紹介（登壇順）



村上 芽 株式会社日本総合研究所
創発戦略センター チーフスペシャリスト

日本興業銀行（現みずほ銀行）を経て、2003年に株式会社日本総合研究所へ入社。研究・専門分野はSDGs、企業のESG（環境・社会・ガバナンス）調査、環境と金融など。サステナビリティ人材の育成や子どもの参加に注力している。著書に『少子化する世界』、『SDGs入門（共著）』、『図解SDGs入門』、『サステナビリティ人材育成の教科書』（共著）など多数。



窪田 佳寛

理工学部 機械工学科
准教授



花木 美穂

株式会社セブン銀行
ATMソリューション部
ATM開発グループ長



西野 理子

社会学部 社会学科
教授



井坂 和一

理工学部 応用化学科
教授

2024年
11月設立

SDGs推進センター

知と実践を結び、
地球社会の明るい未来を拓く

東洋大学SDGs推進センターは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）に関する活動を全学的に推進し、その過程で本学の研究成果をさまざまな社会課題の解決に還元することで、地球社会の明るい未来づくりに貢献することを目的として、2022年10月に設立されました。

センターを運営する委員会には教育（正課・課外）、研究、社会貢献、国際教育・国際貢献、環境、広報の各部門が教職協働で参画し、全学的な推進体制を整備するとともに、部局間の連携を通じて、SDGs達成に資する研究・教育・社会貢献を統合的に推進しています。

さらに、シンポジウム等のSDGs関連イベントを通じて学内外の協働を促進し、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けた取り組みを進めています。

いのち総合研究機構

<いのち>の調和的世界観を現代社会のさまざまな
問題に突き合わせ「新たな価値」を創造する

複雑化した現代社会の課題に取り組むためには、一つの研究分野の知見では十分ではなく、多分野の研究者がチームとなって課題に対峙することが必須です。東洋大学ではこれまでも重点研究推進プログラム制度を中心に、多分野の研究者で組織された研究主体により、その成果をもって社会に貢献することを目指してきましたが、それをさらに進め、「東洋大学いのち総合研究機構」（以下、「いのち総合研究機構」）のもとで組織的に推進していきます。

この「いのち総合研究機構」は、創立者井上円了の思想・哲学と通底する視点を持つ研究成果の創出・発信を目指し、重点研究推進プログラム等各種研究分野を融合、連携させることによって、「いのち」を大切に社会を実現する先進的な未来社会の創造に寄与することを目的として設置しました。

当研究機構は、重点研究推進プログラム等が相互に融合・連携し、学部横断・文理融合の総合大学らしいブランドとなりうる研究を推進します。当該プログラムの採択や予算配分、評価はもとより、各プログラム間の調整や助言などへ主体的に関与し、牽引役として高度な研究活動への展開を促すことで、社会変革・イノベーションの創出を目指します。